

大学番号：013

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

山形大学 地域教育文化学部 地域教育文化学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 山形大学
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	企画部企画課
職名・氏名	カチョウ 課長 ・ キク 菊 地 アキラ 朗
電話番号	023-628-4190
(夜間)	023-628-4190
F A X	023-628-4849
e-mail	kikadai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況, 経費	44
4	既設大学等の状況	45
5	教員組織の状況	47
6	留意事項に対する履行状況等	49
7	その他全般的事項	50

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山形大学

(2) 大学名

山形大学

(3) 大学の位置

〒990-8560
山形県山形市小白川町一丁目4番12号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織 ※該当なし

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
地域教育文化学部 地域教育文化学科 学士(教育学) 学士(学術)	4年	240人	- 年次人	960人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	240人 (-) [若干人]		240人 (-) [若干人]						1.05倍	
志願者数	810 (-) [3]	- (-) [-]	830 (-) [4]	- (-) [-]						
受験者数	623 (-) [2]		594 (-) [3]							
合格者数	265 (-) [0]		260 (-) [2]							
B 入学者数	256 (-) [0]		250 (-) [1]							
入学定員超過率 B/A	1.06		1.04							

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] 256	[-] -	[1] 250	[-] -	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[0] 253	[-] -	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[0] 256		[1] 503		[]		[]		

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	256 人	3 人	平成24年度	3 人	0 人	他大学入学(1), 進路変更(1), 転学部(1)	1.2 %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	250 人	0 人	平成25年度	人	人		0.0 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		%
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成27年度	人	人		%
合 計	506 人	3 人					0.6 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<地域教育文化学部 地域教育文化学科 児童教育コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
中心科目	自然景観と人間活動	1前		2		1						
	地球環境と経済	1後		2					1			
	公衆栄養学概論	3前		2						1		
	栄養教育概論	2後		2			1					
	建築と文化	2前		2		1						
	日本語教育概説	1前		2			1					
	言語習得と異文化理解	1後		2			1					
	社会学概説	1後		2			1		1			昇任による職位の変更(25)
	発達心理学	1後		2			1					
	生涯学習論	2後		2			1					
	社会と学力	2前		2			1					
	教育文化研究法	1前		2							兼1	
	音楽文化入門	2前		2		4	1					
	造形文化論	1後		2		1		1				昇任による職位の変更(25)
	スポーツ文化論	1後		2		1						
	フィールドプロジェクトA (まちづくりと社会参画)	3通		2		1	1				兼1	
	フィールドプロジェクトB (地域文化交流)	3通		2		1						
	フィールドプロジェクトC (科学体験教室)	3通		2		1						
	フィールドプロジェクトD (伝統文化とものづくり)	3通		2			1					
フィールドプロジェクトE (自然科学と野外活動)	3通		2		1			1				
フィールドプロジェクトF (食と健康)	3通		2		1	1						
フィールドプロジェクトG (国際理解)	3通		2			1						
基礎科目	教育原論	1前	2			1					兼1	人事異動のため(25)
	教職論	1前	2				1					
	障害児教育総論	1前	2			1						
	教育方法・技術	2前	2				1					
	道徳教育実践指導論	2後	2				1					
	学習心理学	2前	2			1					兼1	人事異動のため(25)
	学習評価論	2後	2			1					兼1	人事異動のため(25)
	教育工学	2前	2				1					
	教育実践 I (国語)											
	教育実践研究 I (国語)	1後	1			1						教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教育実践 I (社会)											
	教育実践研究 I (社会)	2前	1								兼1	教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教育実践 I (算数)					1					兼1	人事異動のため(25)
	教育実践研究 I (算数)	1後	1			1						教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教育実践 I (理科)											
	教育実践研究 I (理科)	2前	1			1						教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教育実践 (生活)											
	教育実践研究 (生活)	2後	2				1					教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教育実践 (音楽)											
	教育実践研究 (音楽)	2前	2				1					教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教育実践 (図画工作)											
	教育実践研究 (図画工作)	2前	2			1						教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教育実践 (体育)											
	教育実践研究 (体育)	2前	2			1						教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教育実践 (家庭)											
	教育実践研究 (家庭)	2前	2								兼1	教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教育実践 (総合的学習)											
	教育実践研究 (総合的学習)	2後	2				1					教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教育実践 (外国語活動)											
	教育実践研究 (外国語活動)	2後	2								兼1	教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	国語の基礎	2後	2				1					
	社会の基礎											
	社会科の基礎	1後	2			1						教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
算数の基礎												
数学の基礎	2後	2						1			教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
理科の基礎	2後	2			1							
生活の基礎												
生活科の基礎	2前	2				1					教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
音楽の基礎	2前/後	2				1						
図画工作の基礎												
造形の基礎	2前/後	2			1						教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
体育の基礎	2後	2			1							
家庭の基礎												
家庭科の基礎	2後	2			1						教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
教育実践基礎実習	2前	1			6	3						
教育臨床体験 (介護等体験)	2	2			1			1				
教育実践実習事前・事後指導	2,3通	1			6	3						

専 門 科 目	教育課程編成論	3前	2			1				
	特別活動論									
	特別活動の研究	3前	2			1				教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教育社会学	2後	2			1				
	生徒指導・進路指導	3前	2		1					
	教育相談	3後	2			1				
	教育経営学	3前	2							兼1
	教育実践Ⅱ (国語)									
	教育実践研究Ⅱ (国語)	3前	1							兼1 教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教育実践Ⅱ (社会)									
	教育実践研究Ⅱ (社会)	3前	1							兼1 教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教育実践Ⅱ (算数)									
	教育実践研究Ⅱ (算数)	3前	1				1			兼1 教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教育実践Ⅱ (理科)									
教育実践研究Ⅱ (理科)	3前	1			1				兼1 教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
教育実践実習A	3前	3			6	3				
地域社会の教育計画	3後	2								
教職実践演習 (幼稚園・小学校)	4後	2			1	2			兼1 兼3	
発 展 科 目	教育課程開発論	3後	2							兼1
	学習開発デザインセミナーA	3後	2		1					兼1
	教材開発 (国語)									
	教材開発研究 (国語)	3後	1		1					兼1 教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教材開発 (社会)									
	教材開発研究 (社会)	3後	1							兼1 教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教材開発 (算数)					4				兼1 人事異動のため(25)
	教材開発研究 (算数)	3後	1		1					兼1 教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教材開発 (理科)									
	教材開発研究 (理科)	3後	1		1					兼1 教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教材開発 (音楽)									
	教材開発研究 (音楽)	3後	1				1			兼1 教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教材開発 (図画工作)									
	教材開発研究 (図画工作)	3後	1		1					兼1 教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教材開発 (体育)									
	教材開発研究 (体育)	3後	1		1					兼1 教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教材開発 (家庭)									
	教材開発研究 (家庭)	3後	1		1					兼1 教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	男女共同参画社会と教育(総合演習)	3後 3前	2				1			兼1 教育内容見直しのため開講期変更(25)
	地球環境と環境教育(総合演習)	4前	2		1					
	教育臨床体験 (教育ボランティア)	2, 3, 4通	2			1				
	教育臨床体験 (相談教室)	2, 3, 4通	2			1				
	保育内容 (健康)	2後	2			1				
	保育内容 (人間関係)	3前	2			1				
	保育内容 (表現A)	2後	2			1				
	保育内容 (表現B)	3前	2			1				
	保育内容 (言葉)	3前	2							兼1
	保育内容 (環境)	2後	2		1					
	幼児教育指導法	2後	2				1			
	幼児の理解	3前	2			1				
	幼稚園実習	4後	2		6	3				
	学校経営と学校図書館	3前	2							兼1
	学校図書館メディアの構成	3前	2							兼1
		3前								兼1 教育内容見直しのため配当年次変更(25)
	学習指導と学校図書館	2後	2							兼1
	読書と豊かな人間性	3前	2							兼1
		3前								兼1 教育内容見直しのため配当年次変更(25)
	情報メディアの活用	2後	2				1			
	社会教育論	2前	2			1				
	社会教育計画A	3前	2			1				
	社会教育計画B	3後	2			1				
	社会教育演習	3前	2			1				
	社会教育実習	2前	2							兼1
	社会教育課題研究	3後	2			1				
	現代社会と社会教育	2後	2			1				
	社会教育施設	2前	2							兼1
	社会教育団体論	2前	2							兼1
心理学概論	2前	2			1					
心理学研究法	2後	2			1					
心理統計法	2前	2		1					兼1 人事異動のため(25)	
心理学実験	2前	4			1					
認知心理学	2後	2		1					兼1 人事異動のため(25)	
教育心理学概論	2後	2			1					
臨床心理学概論	2後	2			1					
知的障害児の生理心理										
特別支援 (知的・生理心理)	2前	2			1				兼1 教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
知的障害児の神経心理										
特別支援 (知的・神経心理)	2後	2			1				兼1 教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
心理アセスメント	3前	2			1					
家族心理学	3後	2			1					
コミュニティ心理学	3後	2		1						
発達臨床心理学	3後	2			1					
心理療法	3前	2		1						
教育臨床心理学演習	3前	2			1					

対人関係論	3後	2	1				
心理学実践領域実習	2後	2	1	1			
行動分析学	3前	2	1				
精神医学概論	3後	2				兼1	
心理学演習	3前	2		1			
			1			兼1	人事異動のため(25)
学習開発デザインセミナーB	3後	2				兼2	
知的障害児の病理							
特別支援(知的・病理)	3前	2		1			教育内容見直しのため科目名称変更(24)
知的障害児の心理研究法							
特別支援(知的・心理研究法)	2後	2		1			教育内容見直しのため科目名称変更(24)
知的障害児の発達							
特別支援(発達)	2後	2			1		教育内容見直しのため科目名称変更(24)
肢体不自由児の心理							
特別支援(肢体不自由・心理)	2後	2				兼1	教育内容見直しのため科目名称変更(24)
病虚弱児の心理							
特別支援(病虚弱・心理)	2後	2				兼1	教育内容見直しのため科目名称変更(24)
知的障害児の教育				1			
特別支援(知的・教育)	2後	2		1			教育内容見直しのため科目名称変更(24)
知的障害児の教育制度と福祉							
特別支援(制度・福祉)	3前	2				1	教育内容見直しのため科目名称変更(24)
知的障害児の教育経営							
特別支援(教育経営)	3通	2		1			教育内容見直しのため科目名称変更(24)
肢体不自由児の教育							
特別支援(肢体不自由・教育)	2前	2				1	教育内容見直しのため科目名称変更(24)
病虚弱児の教育							
特別支援(病虚弱・教育)	2後	2				1	教育内容見直しのため科目名称変更(24)
視覚障害児の心理と教育							
特別支援(視覚)	2前	2				兼1	教育内容見直しのため科目名称変更(24)
聴覚障害児の心理と教育							
特別支援(聴覚)	2前	2				兼1	教育内容見直しのため科目名称変更(24)
重複・LD等の心理と教育							
特別支援(重複・LD等)	3前	2		1			教育内容見直しのため科目名称変更(24)
特別支援学校教育実習(事前・事後指導を含む)	4前	4		6	3		
課題研究A	3前	2		10	8		兼7
課題研究B	3後	2		10	8		兼7
卒業研究	4通	4		10	8		兼7

(注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
34	107	0	141	34	107	0	141	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{※該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<地域教育文化学部 地域教育文化学科 異文化交流コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
中心科目	自然景観と人間活動	1前		2		1						
	地球環境と経済	1後		2					1			
	公衆栄養学概論	3前		2					1			
	栄養教育概論	2後		2			1					
	建築と文化	2前		2		1						
	日本語教育概説	1前		2			1					
	言語習得と異文化理解	1後		2			1					
	社会学概説	1後		2			1		1			昇任による職位の変更(25)
	発達心理学	2前		2		1	1					誤記のため訂正
	生涯学習論	2後		2			1					
	社会と学力	2前		2			1					
	教育文化研究法	1前		2							兼1	
	音楽文化入門	2前		2		4	1					
	造形文化論	1後		2		1	1					昇任による職位の変更(25)
	スポーツ文化論	1後		2		1						
	フィールドプロジェクトA (まちづくりと社会参画)	3通		2		1	1				兼1	
	フィールドプロジェクトB (地域文化交流)	3通		2		1						
	フィールドプロジェクトC (科学体験教室)	3通		2		1						
フィールドプロジェクトD (伝統文化とものづくり)	3通		2			1						
フィールドプロジェクトE (自然科学と野外活動)	3通		2		1			1				
フィールドプロジェクトF (食と健康)	3通		2		1	1						
フィールドプロジェクトG (国際理解)	3通		2			1						
基礎科目	日本文化概説	1前	2			1						
	ヨーロッパ文化概説	1後	2				1					兼1
	異文化問題地域事情	1後	2									兼1
	実践英会話演習 I	2前	2						1			兼1
	中国語演習 I	2前	2									兼1
	韓国語演習 I	2前	2									兼1
	漢字文化概説	1前	2			1						
	多文化共生概説	2前	2					1				
	哲学概説	1,2後	2					1				
	倫理学概説	1,2後	2					1				
	日本史概説A	2前	2			1						
	日本史概説B	2後	2			1						
	外国史概説	2前	2									兼1 教育上見直しのため削除(24)
	西洋史概説	2後	2									兼1
	地理学概説	1後	2									兼1
	地誌学特論	2前	2									兼1
	政治学概説	2前	2					1				
	国際関係論	3前	2					1				
	経済学概説A	2前	2						1			
	経済学概説B	2後	2						1			
	国語学概説A	2前	2			1						
	日本文学概説	2前	2			1						
	漢文学概説	2前	2			1						
	国語学概説B	2後	2			1						
	日本文学講読 I	2後	2			1						
	漢文学講読 I	2後	2			1						
	日本文学概説	3後	2			1						
	中国文芸史概説	3後	2			1						
	国語学演習 I	3前	2			1						
	日本文学演習 I	2後	2			1						
	漢文学演習 I	3前	2			1						
	書道実技 I	2前	1									兼1
	書道実技 II	2後	1									兼1
	英語学概説	2前	2			1						
	実践英会話演習 II	2後	2						1			
	英語LL演習	2前	2			1						
	実践英語表現演習	2前	2					1				
	現代アメリカ文化論演習	2前	2						1			
	外国文学の世界	2後	2			1						
	英米文学講読	2後	2			1		1				人事異動のため(25)
実践英作文演習	2後	2					1					
社会科教育法A	2前	2			1		1				昇任による職位の変更(25)	
社会の教材分析A	2後	2			1					兼1	誤記のため訂正	
社会科の教材研究A	2後	2			1						教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
国語科教育法A	2前	2								兼1		
国語の教材分析A	2後	2								兼1	教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
国語の教材研究A	2後	2								兼1	教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
英語科教育法A	2前	2					1					
英語の教材分析A	2後	2										
英語の教材研究A	1後	2					1				教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	

	教職論	2前	2		1						
	教育原論	2前	2	+	1					人事異動のため(25)	
	教育方法・技術	2後	2		1						
	学習心理学	2後	2	1						兼1 人事異動のため(25)	
	教育実践基礎実習	2前	1	6	3					兼1 教育内容充実のため科目追加 (24)	
専 門 科 目	英語音声学概説	3前	2		1						
	中国語演習Ⅱ	2後	2							兼1	
	韓国語演習Ⅱ	2後	2							兼1	
	英語文献講読	2後	2	1							
	言語情報活用Ⅰ	2後	2	1							
	韓国文化論演習	3前	2	1	+					昇任による職位の変更(25)	
	ヨーロッパ文化論演習	2後	2	1							
	日本語史演習	3前	2		1						
	Academic Writing	3前	2				1				
	実践英会話演習Ⅲ	3前	2				1				
	中国語演習Ⅲ	3前	2							兼1	
	韓国文化概説	2後	2	1	+					昇任による職位の変更(25)	
	アジアの自然と社会	3後	2	1							
	日本語学概説	2後	2		1						
	日本語教育演習	3前	2		1						
	比較文学概論	3前	2		1						
	日本文化論演習	2後	2		1						
	欧米思想講読	3前	2		1						
	国語学史概説	3後	2	1							
	実践的英語語用論	3後	2	1							
	現代英文法演習	2前	2	1							
	英米文学と文化演習	3前	2	1							
	英米文学演習A	3前	2	1							
	英米文学演習B	3後	2	1							
	異文化交流とインターネット活用	3後	2	1							
	道徳教育実践指導論	3前	2		1						
	古文書学	3前	2	1							
	国語学講義	3前	2	1							
	日本文学講読Ⅱ	3前	2	1							
	漢文学講読Ⅱ	3前	2	1							
	日本文学特別講義	4前	2	1							
	国語学演習Ⅱ	3後	2	1							
	日本文学演習Ⅱ	3後	2	1							
	漢文学演習Ⅱ	4前	2	1							
	国語科教育法B	3前	2	1							
	国語の教材分析B										
	国語の教材研究B	3後	2	3							教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	教育社会学	3前	2		1						
	教育経営学	3後	2								兼1
	教育課程編成論	3後	2		1						
	特別活動論										
	特別活動の研究	3後	2		1						教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	生徒指導・進路指導	3前	2		1						
	教育相談	3後	2	1							
	教育実践実習事前・事後指導	2,3通	1	6	3						
	教育実践実習B	3前	3	6	3						
	教育実践実習C	3通	2	6	3						
日本史講読	3後	2	1								
地理学野外実習A	23前	2								兼1 教育内容見直しのため配当年度変更(25)	
地理学野外実習B	23前	2								兼1 教育内容見直しのため配当年度変更(25)	
経済学演習A	3前	2				1					
経済学演習B	3後	2				1					
社会学文献講読	3前	2		1	+					昇任による職位の変更(25)	
哲学演習	3後	2		1	+					人事異動のため(25)	
発達臨床心理学	2後	2		1							
教育心理学概論	2後	2		1							
社会科教育法B	3前	2	1	+						昇任による職位の変更(25)	
社会の教材分析B			1	+						昇任による職位の変更(25)	
社会科の教材研究B	3後	2		1						兼1 教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
地理・歴史科教育法	2後	2									
公民科教育法	2後	2	1	+						昇任による職位の変更(25)	
英語学演習A	2後	2	1								
英語学演習B	3前	2	1								
第二言語習得論	3後	2		1							
英語科教育法B	3前	2		1							
英語の教材分析B											
英語の教材研究B	2後	2	1							兼1 教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
キャリア教育	2後	2	6	3							
社会体験（インターンシップ）	3前	2	2	2	1	1					
英語表現演習Ⅰ（文化）	2後	2			1						
英語表現演習Ⅱ（通訳・翻訳）	3後	2								兼1	
言語情報活用Ⅱ	3前	2	1								
日本文化研修セミナー	3前/後	2	1							兼1 教育内容見直しのため開講期変更(25)	

発 展 科 目	欧米文化研修セミナー	23前/後 2冊	2		1	4	兼1	教育内容見直しのため配当年次・開講期変更(25) 誤記のため訂正 教育内容見直しのため配当年次・開講期変更(25)	
	アジア文化研修セミナー	23前/後 2冊	2		1				
	教職実践演習(中学校・高等学校)								
	教職実践演習(中学校・高等学校)	4後	2		2	2			
	教育臨床体験(介護等体験)	2通	2		1			1	
	地域社会の教育計画	3後	2						
	課題研究A	3前	2		8	6		2	
	課題研究B	3後	2		8	6		2	
	卒業研究	4通	4		8	6		2	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	143	0	150	7	143	0	150	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	外国史概説	2	2後	専門	選択	教育内容見直しのため(他学部で開設)
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該コースの教育課程において特に影響はないと考える。学生への周知方法としては, 修正済の教育課程を記載した「履修の手引き」を配布し, 周知徹底を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

○平成24年度に1科目を増設し, 平成25年度に1科目を廃止したため, 計画時の授業科目数に増減はない。

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<地域教育文化学部 地域教育文化学科 造形芸術コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
中心科目	自然景観と人間活動	1前		2		1						
	地球環境と経済	1後		2					1			
	公衆栄養学概論	3前		2						1		
	栄養教育概論	2後		2				1				
	建築と文化	2前		2		1						
	日本語教育概説	1前		2				1				
	言語習得と異文化理解	1後		2				1				
	社会学概説	1後		2				1	1			昇任による職位の変更(25)
	発達心理学	2前		2		1		1				誤記のため訂正
	生涯学習論	2後		2				1				
	社会と学力	2前		2				1				
	教育文化研究法	1前		2							兼1	
	音楽文化入門	2前		2		4		1				
	造形文化論	1後		2		1		1				昇任による職位の変更(25)
	スポーツ文化論	1後		2		1						
	フィールドプロジェクトA (まちづくりと社会参画)	3通		2		1		1			兼1	
	フィールドプロジェクトB (地域文化交流)	3通		2		1						
フィールドプロジェクトC (科学体験教室)	3通		2		1							
フィールドプロジェクトD (伝統文化とものづくり)	3通		2				1					
フィールドプロジェクトE (自然科学と野外活動)	3通		2		1			1				
フィールドプロジェクトF (食と健康)	3通		2		1		1					
フィールドプロジェクトG (国際理解)	3通		2				1					
基礎科目	造形史A	1後	2					1				
	工芸と文化	2前		2				1				
	造形史B	2後		2							兼1	
	造形振興論	2後		2							兼1	
	平面造形基礎					1		1				昇任による職位の変更(25)
	平面造形基礎	1前		2				2				
	立体造形基礎	1後		2		1		1				
	絵画基礎	2前		2				1				
	彫刻基礎	2前		2				1				兼1 人事異動のため(25)
	デザイン基礎	2前		2		1						
	色彩学	2前		2		1						
	工芸基礎	2前		2				1				
	映像基礎	2後		2		1						
	教職論	2前		2				1				
	教育原論	2前		2		1		1				人事異動のため(25)
	教育方法・技術	2後		2				1				
	学習心理学	2後		2		1						人事異動のため(25)
道徳教育実践指導論	3前		2				1				兼1 教育内容充実のため科目追加 (24)	
教育実践実習事前・事後指導	2,3通		1		6		3					
教育実践基礎実習	2前		1		6		3					
専門科目	造形史C	2前		2		1		1				昇任による職位の変更(25)
		23前										教育内容見直しのため配当年次変更(25)
	地域文化と造形	2前		2							兼1	教育内容見直しのため配当年次変更(25)
	地域とデザイン	2前		2							兼1	昇任による職位の変更(25)
	生涯学習と造形	3前		2		1		1				
	絵画A	2後		2				1				
	絵画B	3前		2				1				
	絵画C	3後		2				1				
	絵画論	3前		2		1		1				昇任による職位の変更(25)
	彫刻A	2後		2				1				兼1 人事異動のため(25)
	彫刻B	3前		2							兼1	
	彫刻論	3後		2							兼1	
	デザインA	2後		2		1						
	デザインB	3前		2		1						
	工芸A	2後		2				1				
	工芸B	3前		2				1				
	図法・製図	2後		2				1				
	映像表現	3後		2							兼1	
	美術科教育法A	2前		2		1					兼1	
	美術科教育法B	2後		2								
	美術の教材分析A											
	美術科教材研究A	2後		2				1				教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	美術の教材分析B					1		1				昇任による職位の変更(25)
美術科教材研究B	3前		2				1				教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
教育社会学	3前		2				1					
教育経営学	3後		2							兼1		
教育課程編成論	3後		2				1					
特別活動論												
特別活動の研究	3後		2				1				教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	

	生徒指導・進路指導	3前		2			1							
	教育相談	3後		2			1							
	教育実践実習B	3前		3			6		3					
	教育実践実習C	3通		2			6		3					
	教職実践演習（中学校・高等学校）													
	教職実践演習（中学校・高等学校）	4後		2			5					兼1	教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
	工芸科教育法	3前		2					1					
	工芸の教材分析													
	工芸科教材研究	3後		2					1				教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
発 展 科 目	地域造形文化実践論A	3前		2					1					
	地域造形文化実践論B	3前		2								兼1		
	地域造形文化実践演習A	3前		2					1					
	地域造形文化実践演習B	3前		2								兼1		
	絵画技法演習	3後		2			1		4				昇任による職位の変更(25)	
	彫刻C	3後		2								兼1		
	デザインC	3後		2			1							
	工芸C	3後		2					1					
		1前												教育内容見直しのため配当年次変更(25)
	博物館学（概論）	2前				2						兼1		
	博物館学（経営論）	2後				2						兼1		
	博物館学（資料論）	2後				2						兼1		
	キャリア教育	2後	2					6		3				
	教育臨床体験（介護等体験）	2通		2				1			1			
	地域社会の教育計画	3後		2									兼1	
	社会体験（インターンシップ）	3前		2			2	2		1	1			
	課題研究A	3前	2					1		3				
	課題研究B	3後	2					1		3				
卒業研究	4通	4					1		3					

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成25年度に設置された大学等は設置時）より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
9	78	3	90	9	79	3	91	
				[0]	[1]	[0]	[1]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{※該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<地域教育文化学部 地域教育文化学科 音楽芸術コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
中心科目	自然景観と人間活動	1前		2		1						
	地球環境と経済	1後		2				1				
	公衆栄養学概論	3前		2					1			
	栄養教育概論	2後		2			1					
	建築と文化	2前		2		1						
	日本語教育概説	1前		2			1					
	言語習得と異文化理解	1後		2			1					
	社会学概説	1後		2			1		+			
	発達心理学	2前		2		1	+					昇任による職位の変更(25) 誤記のため訂正
	生涯学習論	2後		2			1					
	社会と学力	2前		2			1					
	教育文化研究法	1前		2							兼1	
	音楽文化入門	2前		2			4	1				
	造形文化論	1後		2		1	+					昇任による職位の変更(25)
	スポーツ文化論	1後		2			1					
	フィールドプロジェクトA (まちづくりと社会参画)	3通		2			1	1				兼1
	フィールドプロジェクトB (地域文化交流)	3通		2			1					
	フィールドプロジェクトC (科学体験教室)	3通		2			1					
	フィールドプロジェクトD (伝統文化とものづくり)	3通		2				1				
フィールドプロジェクトE (自然科学と野外活動)	3通		2			1		1				
フィールドプロジェクトF (食と健康)	3通		2			1						
フィールドプロジェクトG (国際理解)	3通		2				1					
基礎科目	合唱A	1前	2			1	1					
	合唱B	1後		2		1	1					
	オーケストラA	2前	2			1	1					
	オーケストラB	2後		2		1	1					
	管弦打楽器奏法Ⅰ(木管楽器)	1通		2							兼4	
	管弦打楽器奏法Ⅰ(金管・打楽器)	1通		2							兼4	
	管弦打楽器奏法Ⅰ(弦楽器)	1通		2		1					兼2	
	ピアノⅠA	1前		2		1					兼2	
	ピアノⅠB	1後		2		1					兼2	
	声楽ⅠA	1前		2		1					兼1	
	声楽ⅠB	1後		2		1					兼1	
	アンサンブルⅠA	1前		2		1	1					
	アンサンブルⅠB	1後		2		1	1					
	作曲ⅠA	1前	2			1						
	作曲ⅠB	1後	2			1						
	ピアノⅡA	2前		2		1					兼1	
	ピアノⅡB	2後		2		1					兼1	
	声楽ⅡA	2前		2		1					兼1	
	声楽ⅡB	2後		2		1					兼1	
	アンサンブルⅡA	2前		2		1	1					
	アンサンブルⅡB	2後		2		1	1					
	作曲ⅡA	2前		2		1						
	作曲ⅡB	2後		2		1						
	ピアノ研究A	3前		2		1					兼2	
	ピアノ研究B	3後		2		1					兼2	
	声楽研究A	3前		2		1					兼1	
	声楽研究B	3後		2		1					兼1	
	アンサンブル研究A	3前		2		1	1					
	アンサンブル研究B	3後		2		1	1					
	作曲研究A	3前		2		1						
	作曲研究B	3後		2		1						
教職論	2前		2				1					
教育原論	2前		2			+	1				人事異動のため(25)	
教育方法・技術	2後		2				1				人事異動のため(25)	
学習心理学	2後		2			1				兼1	教育内容充実のため科目追加(24)	
教育実践基礎実習	2前		1		6	3						
	指揮法A	3前		2			1					
	指揮法B	3後		2			1					
	合唱C	2前		2		1	1					
	合唱D	2後		2		1	1					
	合唱E	3前		2		1	1					
	合唱F	3後		2		1	1					
	オーケストラC	3前		2		1	1					
	オーケストラD	3後		2		1	1					
	ソルフェージュⅠ	2前		2		1						
	ソルフェージュⅡ	2後		2		1						
	ソルフェージュⅢ	3前		2		1						
	管弦打楽器奏法Ⅱ(木管楽器)	2通		2							兼4	
	管弦打楽器奏法Ⅱ(金管・打楽器)	2通		2							兼4	
	管弦打楽器奏法Ⅱ(弦楽器)	2通		2		1					兼2	

専 門 科 目	管弦打楽器奏法Ⅲ（木管楽器）	3通	2					兼4	
	管弦打楽器奏法Ⅲ（金管・打楽器）	3通	2					兼4	
	管弦打楽器奏法Ⅲ（弦楽器）	3通	2		1			兼2	
	音楽史ⅠA	2前	2					兼1	
	音楽史ⅠB	2後	2					兼1	
	音楽史ⅡA	3前	2					兼1	
	音楽史ⅡB	3後	2					兼1	
	日本音楽演習	3前	2					兼1	
	オペラA	2前	2		1	1			
	オペラB	2後	2		1	1			
	オペラC	3前	2		1	1			
	オペラD	3後	2		1	1			
		3後							兼1
	生涯音楽学習論	2後	2			1			兼1
	アウトリーチA	2前	2		4	1			
	アウトリーチB	2後	2		4	1			
	アウトリーチC	3前	2		4	1			
	アウトリーチD	3後	2		4	1			
		2後							兼1
	音楽科教育法A	2前	2			1			兼1
		3前							兼1
		2後							兼1
	音楽科教育法B	2	2			1			兼1
	音楽の教材分析A								兼1
	音楽科教材研究A	2前	2		1	1			兼1
	音楽の教材分析B								兼1
	音楽科教材研究B	3前	2		1	1			兼1
教育社会学	3前	2			1			兼1	
教育経営学	3後	2						兼1	
教育課程編成論	3後	2			1			兼1	
道徳教育実践指導論	3前	2			1			兼1	
特別活動論								兼1	
特別活動の研究	3後	2			1			兼1	
生徒指導・進路指導	3前	2			1			兼1	
教育相談	3後	2		1				兼1	
教育実践実習事前・事後指導	2,3通	1		6	3			兼1	
教育実践実習B	3前	3		6	3			兼1	
教育実践実習C	3通	2		6	3			兼1	
発 展 科 目	教育臨床体験（介護等体験）	2通	2		1		1		
	教職実践演習（中学校・高等学校）								
	教職実践演習（中学校・高等学校）	4後	2		5				
	地域社会の教育計画	3後	2						
	合唱G	4前	2		1	1			
	合唱H	4後	2		1	1			
	オーケストラE	4前	2		1	1			
	オーケストラF	4後	2		1	1			
	オペラE	4前	2		1	1			
	オペラF	4後	2		1	1			
	キャリア教育	2後	2		6	3			
	社会体験（インターンシップ）	3前	2		2	2	1	1	
	課題研究A	3前	2		4	1			
課題研究B	3後	2		4	1				
卒業研究	4通	4		4	1				

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成25年度に設置された大学等は設置時）より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	109	0	116	7	110	0	117	
				[0]	[1]	[0]	[1]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{※該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<地域教育文化学部 地域教育文化学科 スポーツ文化コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
中心科目	自然景観と人間活動	1前		2		1						
	地球環境と経済	1後		2					1			
	公衆栄養学概論	3前		2					1			
	栄養教育概論	2後		2			1					
	建築と文化	2前		2		1						
	日本語教育概説	1前		2			1					
	言語習得と異文化理解	1後		2			1					
	社会学概説	1後		2			1	1				昇任による職位の変更(25)
	発達心理学	2前		2		1	1					誤記のため訂正
	生涯学習論	2後		2			1					
	社会と学力	2前		2			1					
	教育文化研究法	1前		2							兼1	
	音楽文化入門	2前		2		4	1					
	造形文化論	1後		2		1	1					昇任による職位の変更(25)
	スポーツ文化論	1後		2		1						
	フィールドプロジェクトA (まちづくりと社会参画)	3通		2		1	1				兼1	
	フィールドプロジェクトB (地域文化交流)	3通		2		1						
フィールドプロジェクトC (科学体験教室)	3通		2		1							
フィールドプロジェクトD (伝統文化とものづくり)	3通		2			1						
フィールドプロジェクトE (自然科学と野外活動)	3通		2		1		1					
フィールドプロジェクトF (食と健康)	3通		2		1	1						
フィールドプロジェクトG (国際理解)	3通		2			1						
基礎科目	スノースポーツ	2後	1			1						
	スポーツバイオメカニクス	2前		2					1			
	スポーツ原理	2前	2						1			
	スポーツ心理学	2前	2								兼1	
	教育原論	2前		2		1	1					人事異動のため(25)
	スポーツ生理学	2前	2			1						
	ボールゲーム論	3後		2		1						
	レクリエーションスポーツ	3前	1			1						
	衛生・公衆衛生学	2後		2							兼1	
	学校保健	2後		2		1						
	教育社会学	3前		2			1					
	武道	2前		1		1						
	水泳・アクアスポーツ	1前	2			1						
	生涯スポーツ学	1前	2			1						
	社会教育論	2前		2			1					
	体操	2後		1					1			
	武道文化論	2前		2		1						
	野外スポーツ論	2前		2		1						
	陸上競技	2前		1		1						
	教職論	2前		2			1					
教育方法・技術	2後		2			1						
学習心理学	2後		2			1				兼1	人事異動のため(25) 教育内容充実のため科目追加 (24)	
専門科目	コーチング論	3後		2		1						
	ゴルフ	3前		1		1						
	サッカー	2前		1					1			
	スポーツ医科学	3前		2		1						
	スポーツ経営管理学	3後	2								兼1	
	スポーツ行政学	3後		2		1						
	スポーツ史	2後		2					1			
	スポーツ社会学	2後	2			1						
	スポーツ情報処理論	2後		2					1			
	テニス	3前		1		1						
	トレーニング論	3後		2					1			
	バスケットボール	2後		1		1						
	バレーボール	2後		1		1						
	ダンス・舞踊論	2前		2							兼1	
	教育経営学	3後		2							兼1	
	保健体育科教育法A	2前		2		1						
	保健体育科教育法B	2後		2		1						
	保健体育の教材分析A											
	保健体育科教材研究A	3前		2		2			1			教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	保健体育の教材分析B											
保健体育科教材研究B	3後		2		3						教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
野外活動	2前		1		1							
教育課程編成論	3後		2					1				
道徳教育実践指導論	3前		2					1				
特別活動論												
特別活動の研究	3後		2					1			教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
生徒指導・進路指導	3前		2					1				
教育相談	3後		2					1				

発 展 科 目	キャリア教育	2後	2		6	3					
	スポーツ教育学	3前		2	1						
		3通									教育内容見直しのため開講期変更 (25)
	地域スポーツ実践論	4前	2		1						
	教育実践実習B	3前		3	6	3					
	教育実践実習C	3通		2	6	3					
	教育実践基礎実習	2前		1	6	3					
	教育実践実習事前・事後指導	2,3通		1	6	3					
	教育臨床体験（介護等体験）	2通		2	1			1			
	教職実践演習（中学校・高等学校）										
	教職実践演習（中学校・高等学校）	4後		2	5						教育内容見直しのため科目名称変更 (24)
	社会体験（インターンシップ）	3前		2	2	2	1	1			
	課題研究A	3前	2		5						
	課題研究B	3後	2		5				2		
卒業研究	4通	4		5				2			

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成25年度に設置された大学等は設置時）より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合は、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 14	科目 67	科目 0	科目 81	科目 14 [0]	科目 68 [1]	科目 0 [0]	科目 82 [1]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{※該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<地域教育文化学部 地域教育文化学科 食環境デザインコース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
中心科目	自然景観と人間活動	1前		2		1						
	地球環境と経済	1後		2					1			
	公衆栄養学概論	3前		2						1		
	栄養教育概論	2後		2			1					
	建築と文化	2前		2		1						
	日本語教育概説	1前		2			1					
	言語習得と異文化理解	1後		2				1				
	社会学概説	1後		2				1	1			昇任による職位の変更(25)
	発達心理学	2前		2		1	1					異記のため訂正
	生涯学習論	2後		2			1					
	社会と学力	2前		2				1				
	教育文化研究法	1前		2							兼1	
	音楽文化入門	2前		2			4	1				
	造形文化論	1後		2		1	1					昇任による職位の変更(25)
	スポーツ文化論	1後		2		1						
	フィールドプロジェクトA (まちづくりと社会参画)	3通		2		1	1				兼1	
	フィールドプロジェクトB (地域文化交流)	3通		2		1						
フィールドプロジェクトC (科学体験教室)	3通		2		1							
フィールドプロジェクトD (伝統文化とものづくり)	3通		2			1						
フィールドプロジェクトE (自然科学と野外活動)	3通		2		1			1				
フィールドプロジェクトF (食と健康)	3通		2		1	1						
フィールドプロジェクトG (国際理解)	3通		2			1						
基礎科目	生物有機化学	1前	2			1	1					
	調理学	1前	2				1					
	基礎栄養学概論	1後	2				1					
	基礎科学実験	1後	1			2						
	食品学概論	2前	2				1					
	食品学実験 I	2前	1				1					
	生化学	2前	2			1						
	基礎栄養学実験	2前	1					1				
	調理学実習	2前	1				1					
	給食経営管理概論	2前	2					1				
	解剖生理学	2後	2								兼1	
	地域学校食育論	2前	2					1			兼3	
	家庭経営学	2後		2							兼1	
	被服学概論	2後		2		1						
情報基礎マルチメディア演習	2前	2	2		1	1					昇任による職位の変更(25)	
生活機器工学	2前	2	2		1	1					昇任による職位の変更(25)	
教育原論	2前	2	2		1							
教職論	2前	2	2			1						
専門科目	学校栄養教育論	2通	4				1				兼1	
	食品学各論	2後	2				1					
	食品学実験 II	2後	1				1					
	栄養教育実習 I	2後	1					1				
	調理科学実験	2後	1					1				
	基礎栄養学各論	2後	2					1				
	運動生理学	2後	2			1						
	応用栄養学概論	3前	2					1				
	臨床栄養学概論	3前	2					1				
	栄養教育各論	3前	2				1					
	栄養教育実習 II	3前	1				1					
	臨床栄養学実習 I	3前	1					1				
	応用栄養学実習	3前	1					1				
	社会福祉概論	3前	2								兼1	
	保育学概論	3後		2				1				
	家族関係学	3後		2							兼1	
	住居計画学	3後		2		1						
被服構成実習	3前		1.5		1							
家庭科教育法A	2前		2		1							
家庭科教育法B	2後		2		1							
家庭の教材分析A												
家庭科教材研究A	3前		2		1						教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
家庭の教材分析B												
家庭科教材研究B	3後		2		1						教育内容見直しのため科目名称変更 (24)	
	臨床栄養学各論	3後	2					1				
	臨床栄養学実習 II	3後	1					1				
	給食経営管理各論	3後	2					1				
	給食経営実習 I	3後	1					1				
	給食経営実習 II	3後	1					1				
	食品衛生学	3後	2				1					
	公衆衛生学	4前	2				1					
食品衛生学実験	4前	1				1						

発 展 科 目	臨地実習 I	4前	1				1			
	臨地実習 II	4前	1				1			
	栄養学英語演習	4前	1				1			
	課題研究 A	3前	2		2	3	2	3		
	課題研究 B	3後	2		2	3	2	3		
	卒業研究	4通	4		2	3	2	3		
	教育社会学	3前		2			1			
	教育方法・技術	2後		2			1			
						1				
	学習心理学	2後		2						兼1
	道徳教育実践指導論	3前		2			1			
	教育課程編成論	3後		2			1			
	特別活動論									
	特別活動の研究	3後		2			1			
	生徒指導・進路指導	3前		2			1			
	生徒指導論	3後		2		1				
	教育相談	3後		2		1				
	教育経営学	3後		2						兼1
	教育実践基礎実習	2前		1		6	3			
	教育実践実習事前・事後指導	2,3通		1		6	3			
	教育実践実習 B	3前		3		6	3			
	教育実践実習 C	3通		2		6	3			
	教職実践演習 (中学校・高等学校)									
	教職実践演習 (中学校・高等学校)	4後		2		5				
	学校栄養教育実習	3通		2			1			
	教職実践演習 (栄養教諭)	4後		2		1	1			
教育臨床体験 (介護等体験)	2通		2		1		1			
キャリア教育	2後		2		6	3				

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 40	科目 54	科目 0	科目 94	科目 40 [0]	科目 55 [1]	科目 0 [0]	科目 95 [1]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{※該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<地域教育文化学部 地域教育文化学科 生活環境科学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
中心科目	自然景観と人間活動	1前		2		1						
	地球環境と経済	1後		2					1			
	公衆栄養学概論	3前		2					1			
	栄養教育概論	2後		2			1					
	建築と文化	2前		2		1						
	日本語教育概説	1前		2			1					
	言語習得と異文化理解	1後		2				1				
	社会学概説	1後		2				1	1			昇任による職位の変更(25)
	発達心理学	2前		2		1	1					誤記のため訂正
	生涯学習論	2後		2			1					
	社会と学力	2前		2			1					
	教育文化研究法	1前		2							兼1	
	音楽文化入門	2前		2			4	1				
	造形文化論	1後		2		1	1					昇任による職位の変更(25)
	スポーツ文化論	1後		2		1						
	フィールドプロジェクトA (まちづくりと社会参画)	3通		2		1	1				兼1	
	フィールドプロジェクトB (地域文化交流)	3通		2		1						
	フィールドプロジェクトC (科学体験教室)	3通		2		1						
フィールドプロジェクトD (伝統文化とものづくり)	3通		2			1						
フィールドプロジェクトE (自然科学と野外活動)	3通		2		1			1				
フィールドプロジェクトF (食と健康)	3通		2		1	1						
フィールドプロジェクトG (国際理解)	3通		2			1						
基礎科目	生活環境学序論	1前	2			1						
	生活環境科学入門	1後	2			1						
	基礎設計製図	2前	2					1				
	物理学の世界	2前	2					1				
	化学概論	2前	2			1						
	地圏環境科学	1後	2			1						
	生活環境生物学	2後	2			1						
	地球環境史	1前	2			1						
	図学	2前	2			1						
	デザイン木材加工	2前	2			1						
	木材によるものづくりデザイン実習	2後	1			1						
	生活材料加工学	2前	2			1						
	生活環境リサイクル技術実習	3後	1			1						
	生活材料工学	1前	2			1						
	生活環境材料科学実験	3前	1			1						
	生活環境と栽培A	2前	2								兼1	
	生活環境と栽培B	2後	2								兼1	
	日本建築史	2後	2			1						
	西洋建築史	3前	2			1						
	23前											教育内容見直しのため配当年次変更(25)
	建築・環境の法律	2前	2								兼1	
	建築一般構造	2後	2					1				教育内容見直しのため配当年次変更(25)
	23後											教育内容見直しのため配当年次変更(25)
	測量学	2後	2								兼1	
	23後											教育内容見直しのため配当年次変更(25)
	測量学実習	2後	2								兼1	
	情報基礎マルチメディア演習	2前	2			1	1					昇任による職位の変更(25)
	情報基礎実習	2前	1				1					
	生命と環境	2前	2			1						
	生活環境生物学実験	3前	2			1						
	地圏環境科学実験A	2前	2			2						
23前											教育内容見直しのため配当年次変更(25)	
地形景観学野外実習A	2前	2			2						教育内容見直しのため配当年次変更(25)	
23前											教育内容見直しのため配当年次変更(25)	
環境地質学実習A	2前	2			2							
理科教育法A	2前	2			1							
技術科教育法A	2前	2			1							
教職論	2前	2					1					
教育方法・技術	2後	2					1					
23後											人事異動のため(25)	
学習心理学	2後	2					1			兼+	教育内容充実のため科目追加(24)	
教育原論	2前	2			1		1				人事異動のため(25)	
教育実践実習事前・事後指導	2,3通	1			6	3						
教育実践基礎実習	2前	1			6	3						
	建築CAD演習	2後		2		1						
	環境工学	2前		2							兼1	
	住居計画学	2後		2		1						
	施設計画	3前		2		1						
	景観設計	3後		2		1						
	構造と力学	2前		2				1				
耐震構造	3前		2				1					

	建築材料学	2後	2			1													
	建築材料学実験	3前	2			1													
	建築施工	3後	2			1													
	機械システム工学	2前	2			1	+											昇任による職位の変更(25)	
	機械工学実験	2前	1			1	+											昇任による職位の変更(25)	
	電気工学	2後	2			1	+											昇任による職位の変更(25)	
	電気工学実験	2後	1			1													
	金属によるものづくりデザイン実習	2後	1			1													
	建築設計製図Ⅰ	2後	2			1													
	建築設計製図Ⅱ	3前	2			1													
	建築設計製図Ⅲ	3後	2															兼1	
	インテリアデザイン論	2後	2					1											
	住まいと庭園	3前	2			1													
	ユニバーサルデザイン論	3後	2			1													
	色彩学	2前	2			1													
		23前																教育内容見直しのため配当年次変更(25)	
	人間工学	2前	2															兼1	
	住環境論	3前	2			1													
	現代物理学	3後	2					1											
	無機化学	3前	2			1													
	環境地質学	2後	2			1													
	地圏物質科学	3前	2			1													
	環境変動論	2後	2			1													
	アジアの自然と社会	3後	2			1													
	地圏環境科学実験B	2後	2			1													
		23前																教育内容見直しのため配当年次変更(25)	
	地形景観学野外実習B	2前	2			2													
	地形・表層地質災害論演習A	3前	2			1													
		23前																教育内容見直しのため配当年次変更(25)	
	環境地質学実習B	2前	2			2													
	物理学実験	2後	2					1											
	化学実験	2後	2			1													
		23前																教育内容見直しのため配当年次変更(25)	
	生物学臨海実習	2前	1.5			1													
		23前																教育内容見直しのため配当年次変更(25)	
	生物学野外実習	2前	1.5			1													
	理科教育法B	3後	2			1													
	技術科教育法B	2後	2			1													
	工業科教育法	3前	2			1													
	理科(物理学)の教材分析																		
	教材の研究(物理学)	2後	2					1										教育内容見直しのため科目名称変更(24)	
	理科(化学)の教材分析																		
	教材の研究(化学)	2後	2			1												教育内容見直しのため科目名称変更(24)	
	理科(生物学)の教材分析																		
	教材の研究(生物学)	3前	2			1												教育内容見直しのため科目名称変更(24)	
	理科(地学)の教材分析																		
	教材の研究(地学)	3前	2			1												教育内容見直しのため科目名称変更(24)	
	技術の教材分析A																		
	教材の研究(技術A)	3前	2			2												教育内容見直しのため科目名称変更(24)	
	技術の教材分析B																		
	教材の研究(技術B)	3後	2			1												教育内容見直しのため科目名称変更(24)	
	工業の教材分析																		
	教材の研究(工業)	3後	2			1												教育内容見直しのため科目名称変更(24)	
	生活環境と職業指導	2後	2			1													
	Linux実習	2後	1					1											
	電気工学・同演習	2前	3					1											
	電子工学	2後	2			1													
	デジタル回路	2後	2			1													
	通信工学	3後	2			1													
	計算機工学	3前	2			1													
	教育実践実習B	3前	3			6		3											
	教育実践実習C	3通	2			6		3											
	教育社会学	3前	2			1													
	教育課程編成論	3後	2			1													
	特別活動論																		
	特別活動の研究	3後	2					1										教育内容見直しのため科目名称変更(24)	
	教育経営学	3後	2															兼1	
	道徳教育実践指導論	3前	2					1											
	生徒指導・進路指導	3前	2					1											
	教育相談	3後	2			1													
発 展 科 目	建築設備	2後	2															兼1	
	地盤工学	3後	2					1											
	都市・地域計画	3後	2			1													
	環境英語入門	2前	2			+		1										人事異動のため(25)	
	地形・表層地質災害論演習B	3後	2			1													
		3通																教育内容見直しのため開講期変更(25)	
		2前																	
	環境地質学実習C	2前	2			1													
	教職実践演習(中学校・高等学校)																		
	教職実践演習(中学校・高等学校)	4後	2			5												教育内容見直しのため科目名称変更(24)	
教育臨床体験(介護等体験)	2通	2			1			1											
社会体験(インターンシップ)	3前	2			2		2	1		1									
キャリア教育	2後	2			6		3												

課題研究A	3前	2			9	3				
課題研究B	3後	2			9	3				
建築卒業設計	4通	4			2	1				
卒業研究	4通	4			9	3				

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 15	科目 122	科目 0	科目 137	科目 15 [0]	科目 123 [1]	科目 0 [0]	科目 138 [1]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{※該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<地域教育文化学部 地域教育文化学科 システム情報学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
中心科目	自然景観と人間活動	1前		2		1						
	地球環境と経済	1後		2					1			
	公衆栄養学概論	3前		2					1			
	栄養教育概論	2後		2			1					
	建築と文化	2前		2		1						
	日本語教育概説	1前		2			1					
	言語習得と異文化理解	1後		2			1					
	社会学概説	1後		2			1		1			昇任による職位の変更(25)
	発達心理学	2前		2		1	1					誤記のため訂正
	生涯学習論	2後		2			1					
	社会と学力	2前		2			1					
	教育文化研究法	1前		2							兼1	
	音楽文化入門	2前		2			4	1				
	造形文化論	1後		2		1	1					昇任による職位の変更(25)
	スポーツ文化論	1後		2		1						
	フィールドプロジェクトA (まちづくりと社会参画)	3通		2		1	1				兼1	
	フィールドプロジェクトB (地域文化交流)	3通		2		1						
フィールドプロジェクトC (科学体験教室)	3通		2		1							
フィールドプロジェクトD (伝統文化とものづくり)	3通		2			1						
フィールドプロジェクトE (自然科学と野外活動)	3通		2		1			1				
フィールドプロジェクトF (食と健康)	3通		2		1	1						
フィールドプロジェクトG (国際理解)	3通		2			1						
基礎科目	社会科学方法論	1前	2				1					
	政治学概説	2前		2			1					
	経済学概説A	2前		2					1			
	倫理学概説	1,2後		2			1					
	解析学I	1前	2					1				
	解析学II	1後		2					1			
	代数学I	1前	2					1	1			人事異動のため(25)
	代数学II	1後		2				1	1			人事異動のため(25)
	幾何学I	1前		2		1						
	幾何学II	1後		2		1						
	プログラミング	2前	2					1				
教職論	2前		2			1	1				人事異動のため(25)	
教育原論	2前		2			1						
専門科目	計量政治分析	2後	2				1					
	国際関係論	3前		2			1					
	社会学文献講読	2前	2				1	1				昇任による職位の変更(25)
	社会現象の数理分析	2後		2			1	1				昇任による職位の変更(25)
	社会調査法	2後	2				1	1				昇任による職位の変更(25)
	経済学概説B	2後		2				1				
	哲学概説	1,2後		2			1					
	認知心理学	2後		2			1				兼1	人事異動のため(25)
	日本史概説A	2前		2			1					
	日本史概説B	2後		2			1					
	地理学概説	1後		2							兼1	
	地誌学特論	2前		2							兼1	
	アジアの自然と社会	3後		2			1					
	解析学A	2前		2							兼1	
	解析学B	2後		2							兼1	
	代数学A	2前		2				1	1			人事異動のため(25)
	代数学B	2後		2				1	1			人事異動のため(25)
	幾何学A	2前		2			1					
	幾何学B	2後		2			1					
	確率論	2前		2					1			
	統計学	2後	2						1			
	データ構造とアルゴリズム	2後	2					1				
	応用システム解析	2後	2				1	1				昇任による職位の変更(25)
	コンピュータアーキテクチャ	2前		2							兼1	
	情報数学	2後		2					1			
	離散数学A	2後		2				1				
	離散数学B	3前		2				1				
情報理論	2後		2				1					
情報基礎マルチメディア演習	3前		2			1	1				昇任による職位の変更(25)	
数理計画法	3前		2				1					
計算科学A	2前	2				1						
計算科学B	2後		2			1						
カオスの数理と応用	3前		2			1						
流体力学	3前		2			1	1				昇任による職位の変更(25)	
機械システム工学	2前		2			1	1				昇任による職位の変更(25)	
計算理論A	2後	2					1					
言語理論	3前		2				1					

発 展 科 目	数学の教材分析A																					教育内容見直しのため科目名称変更 (24)		
	数学の教材研究A	2前	2					1																
	数学の教材分析B																					教育内容見直しのため科目名称変更 (24)		
	数学の教材研究B	2後	2							1														
	教育方法・技術	2後	2							1												人事異動のため(25)		
	学習心理学	2後	2																			兼1 教育内容充実のため科目追加 (24)		
	教育課程編成論	3後	2																					
	社会調査演習 I (社会学)	3前	2						1		+												昇任による職位の変更(25)	
	社会調査演習 II (政治学)	3後	2						1															
	経済学演習 A	3前	2									1												
	経済学演習 B	3後	2									1												
	欧米思想講読	3前	2							1														
	哲学演習	3後	2							1														
	多変量解析論	3前	2										1											
	論理設計	3前	2							1														
	計算理論 B	3後	2									1												
	計算物理学	3前	2					1																
	量子物理学	3後	2					1																
	差分法による数値解析	3後	2						1				+										昇任による職位の変更(25)	
	代数学 C	3前	2										+										人事異動のため(25)	
	幾何学 C	3前	2							1														
	課題研究 A	3前	2						2	5		2												
	課題研究 B	3後	2						2	5		2												
卒業研究	4通	4						2	5		2													
数学科教育法 A	3前	2										+										兼1 人事異動のため(25)		
数学科教育法 B	3後	2									1													
教育社会学	3前	2									1													
教育経営学	3後	2																				兼1		
特別活動論																								
特別活動の研究	3後	2									1													
道徳教育実践指導論	3前	2									1													
教育実践基礎実習	2前	1						6	3															
教育実践実習事前・事後指導	2,3通	1						6	3															
教育実践実習 B	3前	3						6	3															
教育実践実習 C	3通	2						6	3															
生徒指導・進路指導	3前	2									1													
教育相談	3後	2									1													
教職実践演習 (中学校・高等学校)																								
教職実践演習 (中学校・高等学校)-	4後	2						2	2													教育内容見直しのため科目名称変更 (24)		
教育臨床体験 (介護等体験)	2通	2						1						1										
キャリア教育	2後	2						6	3															

- (注) ・ 設置計画書の様式第 2 号 (その 2 の 1) に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て (兼任、兼任教員が担当する科目を含む。) を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時 (平成 25 年度に設置された大学等は設置時) より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」については、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等 (平成 19 年度設置以前) についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
16	92	0	108	16	93	0	109	
				[0]	[1]	[0]	[1]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{※該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<地域教育文化学部 地域教育文化学科 (基盤教育科目)> (全コース共通)

(1) 授業科目表

科目 区分	業科目の名	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基盤 科目	導入科目	スタートアップ・セミナー	1前	2							
	基幹科目	共生を考える	文化・行動A	1	2						
			政経・社会A	1	2						
			数理・物質A	1	2						
			生命・環境A	1	2						
			複合領域A	1	2						
	人間を考える	文化・行動B	1	2							
		政経・社会B	1	2							
		数理・物質B	1	2							
		生命・環境B	1	2							
		複合領域B	1	2							
	教養科目	文化と社会	哲学	1	2						
			心理学	1	2						
			歴史学	1	2						
			文学	1	2						
			芸術	1	2						
			言語学	1	2						
			文化論	1	2						
			法学	1	2						
			経済学	1	2						
			社会学	1	2						
			政治学	1	2						
			地理学	1	2						
			地域科学	1	2						
	日本国憲法	1	2								
	教養セミナー	1	2								
	自然と科学	生物科学	1	2							
		地球環境学	1	2							
		数理科学	1	2							
		物理学	1	2							
		化学	1	2							
	教養セミナー	1	2								
	応用と学際	応用	1	2							
		学際	1	2							
		教養セミナー	1	2							
	山形に学ぶ	地域学	1	2							
教養セミナー		1	2								
共通科目	コミュニケーション・スキル1	英語	1	1							
	コミュニケーション・スキル2	ドイツ語	1	1							
		フランス語	1	1							
		ロシア語	1	1							
		中国語	1	1							
	健康・スポーツ	健康・スポーツ科学	1	2							
		スポーツ実技	1	1							
		スポーツセミナー	1	2							
	情報リテラシー	情報処理	1	2							

履修方法

導入科目：2単位必修。
基幹科目：「共生を考える」から2単位、「人間を考える」から2単位の計4単位必修。
教養科目：「文化と社会」から2単位、「自然と科学」から2単位、「応用と学際」または「山形に学ぶ」から2単位の計6単位必修、10単位選択。
共通科目：「コミュニケーション・スキル1」から4単位、「コミュニケーション・スキル2」から1か国語4単位、「情報リテラシー」から2単位、「健康・スポーツ」から1単位の計11単位必修。
展開科目：2年次以降に「教養科目」から2単位必修。

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	45	0	47	2	45	0	47	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{※該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費 ※該当なし

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		(例) 平成25年4月 専任教員1名を新規 採用のため(25)		
		〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山形大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部						1.03		山形県 山形市小白川町 一丁目4番12号	
人間文化学科	4	100		400	学士(文学)	1.07	平成8年度		
法経政策学科 (学部共通)	4	200	3年次20	800 40	学士 (法学, 経済学, 政策科学)	1.01	平成18年度		
地域教育文化学部						1.05		山形県 山形市小白川町 一丁目4番12号	
地域教育文化学科	4	240		480	学士(教育学) 学士(学術)	1.05	平成24年度		
地域教育学科	—	—		—		—			平成24年度から学生募集停止
文化創造学科	—	—		—		—			平成24年度から学生募集停止
生活総合学科	—	—		—		—			平成24年度から学生募集停止
理学部						1.02		山形県 山形市小白川町 一丁目4番12号	
数理科学科	4	45		180	学士(理学)	1.05	平成7年度		
物理学科	4	35		140		1.05	平成7年度		
物質生命化学科	4	45		180		1.00	平成7年度		
生物学科	4	30		120		1.00	平成7年度		
地球環境学科	4	30		120		1.00	平成7年度		
医学部						1.00		山形県 山形市飯田西 二丁目2番2号	
医学科	6	125		730	学士(医学)	1.00	昭和48年度		平成22年度入学定員変更
看護学科	4	60	3年次5	250	学士(看護学)	1.02	平成5年度		平成22年度第3年次編入学定員変更
工学部 (昼間コース)						1.04		山形県 米沢市城南四丁 目3番16号	
機能高分子工学科	4	110		440	学士(工学)	1.05	平成12年度		平成22年度入学定員変更
物質化学工学科	4	75		300		1.03	平成12年度		平成22年度入学定員変更
バイオ化学工学科	4	60		240		1.03	平成22年度		
応用生命システム工学科	4	60		240		1.06	平成12年度		
情報科学科	4	75		300		1.06	平成12年度		平成22年度入学定員変更
電気電子工学科	4	75		300		1.04	平成12年度		平成22年度入学定員変更
機械システム工学科	4	115		460		1.03	平成2年度		平成22年度入学定員変更
(夜間主コース)									
システム創成工学科	4	50		200	学士(工学)	1.04	平成22年度		
物質化学工学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
応用生命システム工学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
情報科学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
電気電子工学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
機械システム工学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
農学部						1.04		山形県 鶴岡市若葉町1 番3号	
食料生命環境学科	4	155		620	学士(農学)	1.04	平成22年度		
生物生産学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
生物資源学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止
生物環境学科	—	—		—		—			平成22年度から学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）について，それぞれの学校種ごとに，平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際，AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。
（ただし，専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を，学科単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「－」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

＜地域教育文化学部 地域教育文化学科＞

(1) 担当教員表 ※該当なし

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例)										
専	教授	○○○○(○○)	平成22年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆(○○)	平成23年4月	国際経済学	平成23年3月 ○○○教授辞任のため 平成23年度より担当者の 変更(23) 平成23年7月 AC教員審査済(24)
					兼任	講師	◇◇◇(○○)	平成23年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●●(○○)	平成23年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△(○○)	平成23年4月	商 法						……………のため、就任が遅延 (23)
専	准教授	□□□□(○○)	平成24年10月	金 融 論			後任未定			平成24年10月 □□□□准教授就任辞退(25) 【後任未定】平成25年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲(○○)	平成25年4月	○○○○論	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(○○学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
40	30	11	3	84	41	29	12	3	85	65	0
(40)	(30)	(11)	(3)	(84)	[1]	[△1]	[1]	[0]	[1]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 ※該当なし

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 ※該当なし

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

※該当なし

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<地域教育文化学部 地域教育文化学科>

(1) 設置計画変更事項等 ※該当なし

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 124単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む) ※該当なし

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況 (教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況, 方法等
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。
 ・ 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項 ※該当なし

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

- ・平成25年5月1日 公表

b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成25年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

- ・平成25年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成25年10月 1日)